

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 8 年 5 月 26 日 (火)
クラス名(年齢)	うさぎ組(2歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

色に興味や関心を持ってみよう

<テーマの設定理由>

日々の生活や遊びの中で、「赤」や「青」など、色を示す言葉が聞こえるようになり、やり取りが楽しめるようになってきている。「せんせい、赤」、「これ、青」など、色に興味や関心を持っている姿が見られる。

2. 活動スケジュール

普段過ごす部屋とは別の部屋へ5～6名ずつのグループで行き、順番に光テーブルを使って遊ぶことを楽しむ。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

光テーブル、カラー積み木、カメラ
室内の電気を消し、カーテンを閉めた状態の部屋

4、探究活動の実践

<活動内容>

5～6名のグループで行う。初めての活動で、興味を示す子がいる一方、何となく不安な子は、保育士が側について安心して参加できるようにする。
初めは光テーブルの電源が入ったり切れたりすることで、不思議なことが起こることを知らせ、カラー積み木を用意する。積み木内の色水が動く様子や、発光により、色水がより鮮やかに見えること、あるいは異なる色水の入った積み木を重ねると違う色に見えることに気づいた。他にもカラー積み木を覗いて見える様子が面白く、色眼鏡のようにして楽しんでいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 明るい部屋でカラー積み木を見せ、「これ、何色に見えるかな？」と尋ね、色の名前を子どもたちから聞く。これらの積み木がどうなるか、期待を膨らませ、グループに分かれて行う。



② 「せんせい、見て！」と、光テーブルの上で色鮮やかに映るカラー積み木に多くの子どもが喜ぶ。保育士のみならず、子ども同士で色水の様子や、異なる色水の入った積み木を重ねると違う色に見えることに気づいた。



③ カラー積み木を並べたり、組み合わせたりして楽しみ、偶然にも「まる、できた」、「お花みたい」など、形も楽しむ。



④ 他にも同じ色水の入ったカラー積み木を重ねると、より鮮やかな色になることや、カラー積み木を目の前にかざして覗いて見える色の世界を楽しむなどし、興味津々な様子。



5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段の生活や遊びの中で、色についての興味や関心が出てきたことから、取り入れた活動だった。「赤」と「青」、「黄色」の3種類の色水が入ったカラー積み木が、子どもたちの手によって色の変化に気づいたり、四角や半円型の積み木を組み合わせることで、新たな形や何かに見立てるなど、それぞれに発見や面白みを感じ、じっくり楽しむことができた。
今回は直接、色水に触れることはなかった。次回は実際に色水を作ったり、触れたりしながら、楽しみ、新たな気づきや体験ができるよう、工夫していきたい。